

P.10

4コママンガをつくろう
セリフはめこみ例

1. You're very shiny!
It's so cool!
2. Do you really think so?
3. Now we're both shiny!

アイデアを
お待ちしております!

「Hiraku」では、英語・幼児教育の
最新ニュースやトピックなど皆さまに
役立つ情報をお届けいたします。

- ・最近気になっていること
- ・取り上げてほしい話題
- ・新しいコンテンツ etc...

皆さまからのご意見・ご要望を
お待ちしております!

「Hiraku」編集部

TEL : 06-6135-0150

Mail : hiraku@kinderkids.ed.jp

Hirakû

2021年1月発行 Vol.13

次回3月末
発行予定

株式会社キンダーキッズ

TEL : 06-6135-0150

〒530-0033 大阪市北区池田町3-1

ぶらら天満ビル2F

www.kinderkids.com

未来をひらく 思いをつたえる

Hirakû

13



Charity Project キンダーキッズ × SDGs

Staff Spotlight 世界をまたにけるキッズたち Grad Club Message

4コママンガをつくろう

日本の心と、英語の力。Kinder Kids inc.





Feature Story

Charity Project

① キンダーキッズ チャリティ



十分な教育環境が整っていない地域で生きる子どもたちのためにキンダーキッズができること

2010年にスタートしたキンダーキッズのチャリティ活動。その約1年後に、チャリティイベントなどを通じて集まった保護者さまやスタッフからの寄付・支援によって、カンボジア西部のポーサット州にある村に“チャンスレー小学校”が建ちました。開校当時の生徒は20名弱。それから10年以上の月日を経て、校舎の改築も行われ、今では600名を超える生徒がこのスクールに通っています。

プロジェクトの立ち上げ当初、子どもたちを取り巻く環境を調査していくと、先にクリアすべきさまざまな課題が分かってきました。ドアも壁もない小屋のような空間で、衛生面の整っていない教室環境。そのうえ空腹では勉強に集中できず、質の高い教育は望めません。私たちはまず、井戸の建設と、農地や牛・鶏を購入し、村人たちの手で家畜を育てていけるよう支援して、栄養価の高い食資源を増やしていきました。こうした活動を続けて2年目の2012年、給食プログラムが開始しました。“チャンスレー小学校に行けば、おいしい給食が食べられる!”と評判になり、子どもたちが学校に行くモチベーションにつながりました。また、生徒たちの幼いきょうだいにも提供されました。余った食材はマーケットで販売し、そのリターンをスクールの運営費用に還元するといった、村の自立に向けた仕組みづくりも。現在は校庭にて、イートイン・スペースの建設が進んでいます。きれいな青空と大きな木陰の下で、子どもたちが給食を食べている光景を見られる日が楽しみです!



Charity Event

これまで、キンダーキッズの園児や卒園生、そのご家族のみさまにご参加いただいたチャリティイベント。集まった収益金はカンボジアのチャンスレー小学校運営に活かされています。

② グラッドクラブ カンボジア ボランティア活動

卒園生向けのプログラム。海外で一週間程度、ボランティア活動します。毎日を必死に生きる現地の子どもたちと交流し、夢や希望を届けるお手伝いをします。

発展途上国の現状を知り視野を広げるとともに自らの価値観を見つめなおす。学びの旅!



③ 神戸シーサイドクラブ・チャリティナイト

神戸シーサイドクラブはキンダーキッズファミリーのための保養施設。ビーチが見渡せるプールガーデンで、お料理を楽しみながら、パフォーマンスショーや花火で盛り上がるチャリティイベントを毎年行っています。

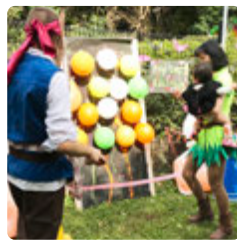


カンボジアボランティア活動に参加された生徒の保護者さまの声

- ★ この旅をきっかけに娘がよく話ようになり、明るくなりました。心情の変化を感じます。
- ★ 自身の恵まれた環境に気づいたことで前向きさや感謝のある言葉が本人の口から聞けるようになり、大きな成長を感じました。
- ★ グラッドクラブのFacebookで滞先の様子が投稿されるので毎日楽しみにしていました。
- ★ 治安や衛生面、必要になった場合の医療サービスについて心配がありました。事前の説明を聞き安心して送り出すことができました。

④ 関東合同・名古屋ハロウィンパーティ

東京本校と名古屋校で開催しているハロウィンのチャリティイベント。仮装コンテストやフェイスペインティングなど、ハロウィンにちなんださまざまな催しブースが設置され、大賑わいの日になります。スタッフも全員仮装して変身! キャラクターに扮したスタッフと交流するのも楽しみの一つになっているようです。



オリジナルのチャリティTシャツ販売も

カンボジア ボランティア Project

2021.7.24 Sat. ~ 7.30 Fri.

2021年度の現地ボランティア日程が決定しました!!

参加をご希望の方はもちろん、ご興味のある方は
グラッドクラブまでご連絡ください。

プロジェクトの詳細や現地滞在中の生活
など、気になること何でも
お答えします!



“Grad+”で最新情報をチェック!

来年度参加者受付はじまる!



1 チャリティ スクール Volunteer

- ボール、縄跳び、折り紙で
いっしょに遊んだり、日本で
人気のお菓子をプレゼント
したりと現地の子どもたちと
交流を深める
- 現地の子どもたちとご家族
が暮らす村・家庭を見学し
日本とは違う厳しい生活環境の
現状を自らの目で見て
学び考える

2 日本語学校 Volunteer

- 日本の文化や風習などからテーマを設定し
現地学生の前で発表する
- グループワーク「異文化を理解し合う」
- ゲームや言葉遊びをとおして交流する

3 首都観光 Activity

- プノンペン最大の
「セントラルマーケット」を散策する
- 「王宮&シルバーパコダ」または
「トゥールスレン虐殺博物館」を見学する



グラッドクラブ課

TEL. 06-6135-0140 (平日9~18時)
Mail. info@grad-club.com

対象 グラッドクラブ在籍または
当園卒園の小学5年生以上

- * ボランティア同意書に署名が可能な方
- * 食物アレルギーのない方
- * 健康状態が良好な方
- * 集団行動において規律が守れる方
- * 小学5・6年生は申込後に面接あり

定員 30名 (最少催行人数8名)

費用 179,000円 + 海外保険料
(全行程費用、燃油サーチャージなど
諸税込み)

- * グラッドクラブに在籍していない方は
別途20,000円(税込)が必要

この情報は2020年12月時点のものです

キンダーキッズ × SDGs

ふだんの生活でも最近よく目にする、SDGs (エスディーゼーズ)。SDGsは、Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称です。地球環境に配慮しながら、全ての人が平等に扱われ、一人ひとりが経済的に自立した世の中をつくるため、2030年までに達成すべき目標17項目が国連サミットにおいて採択されました。その多くが、これまでのキンダーキッズの活動に共通しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



▶ 未来を担う子どもたちに求められるマインドとは?

私たちが望むのは、子どもたちが大人になったとき、安心して働き暮せるよう“社会や地球とつながっている”と思えること。カンボジアボランティア活動以外にも、キンダーキッズのレッスンでは、植物や動物、食物連鎖などさまざまなことをテーマ学習で取り上げています。生態系に影響を及ぼす地球温暖化など環境問題についても分かりやすく伝え、子どもたちといっしょにエコ活動を行っています。おもちゃを大切に使う、水を大切に使う、家族やお友だちを思いやるなど、幼くても、できることはたくさんあります。

よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していくために、私たちは子どもに何ができるのかを考えながら、引き続き活動してまいります。





Interview

Yao

School

八尾校マネージャー
三好 裕子



Staff Spotlight



Interview

Toyonaka

School

豊中校マネージャー
望月 忍



2000年3月に誕生した、キンダーキッズ第2号校の八尾校です。今では、在園生の多くが八尾校を卒業したお兄さんお姉さんのごきょうだいです。そうすると保護者さまとの会話から、卒業したお子さまの成長の様子をお教えたことや、代々の八尾校マネージャーがどのような取り組みをされてきたかも知れて勉強になり、今働いているスタッフにとって、とても励みになります。スタッフは、自転車で通勤できる距離に住んでいる者もいて、保護者さまとの距離が近く、園全体にアットホームな雰囲気があります。

近隣には、子どもたちを連れて安心して散歩に行ける公園がいくつかあり、キンダークラスはロング保育の時間によく出かけています。教室で学べる英語もたくさんありますが、屋外に出かけ、街の中を歩き、自然に目を配らせさまざまなことを感じながらネイティブティーチャーの英語を聞き、自ら英語で話す体験はかけがえのない学びの場です。



園内には、人工芝を敷いた屋上バルコニーや、滑り台や鉄棒、アスレチック遊具のある広い園庭のほか、菜園スペースもあり、先生たちはこの環境を存分に使い、オールイングリッシュで繰り広げられる日常を新しい発見や驚きであふれたものにしてくれます。

子どもたちは、園だからこそ出合える体験と先生の声かけによってイメージを広げ、まるで冒険家のようにいきいきと活動しています。そんな子どもたちと先生のやりとりがみられることが嬉しく、仕事にやりがいを感じます。

素手で土をさわって果物や野菜を育てたり、土の中に住む生きものに触れてみたり、あるときは、上手に羽化できず困っている蝶の幼虫をみんなで助けたりと、じぶんたちにもできる生きもののお世話をすることで、あらゆる美しい生命に親しみ、豊かな人間性を育てています。

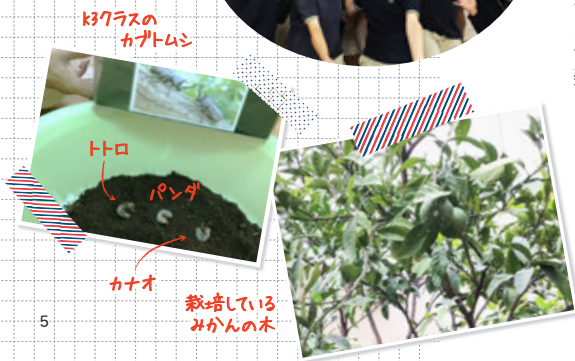
利便性に優れ、それでいて緑も多く、子育て環境に恵まれている場所。大阪のベッドタウンを代表する北摂地域に豊中校はあります。歴史ある神社や品の良いカフェ、名店がひっそりとたたずんでいるような閑静な街で、おいしいパン屋さんから焼きたてのパンをおやつに届けてもらうこともあり、神社もおなじみのお散歩コースになり懇意にいただいています。神社の広い境内やそのとなりの公園では、昆虫など生きものにふれて観察することができ、自然をとおして季節の移り変わりが知れ、子どもの情操を高めるに貴重な場です。この街で数十年、あたたかい環境のおかげでインターナショナルスクールとしての教育を大切にしながら、より良い園づくりを追求してこられました。この長きにわたる運営において、卒業生が小学生そして中学生になり、学校帰りに年齢の離れたきょうだいを迎えにきてくれることがあります。在園生、卒業生、ご家族、地域へとお付き合いがつながり、その社会の輪が、子どもたちの育ちに良い環境を生み出してくれるものと信じています。また、スタッフは世界中から集まった多国籍メンバーです。子どもたちはそんなスタッフみんなのことが大好きで、先日帰り際、さようならの挨拶をしていない先生がいることに気づいたお友だちが“See you”を伝える

この広～い砂場の裏に本領を発揮します！
ここで、どろんこになって遊ぶのが子どもたちがたまらなく好きなことを私たちは知っています☆



ためにあちこち教室をのぞき探し回っていました。多くの人々と親しむ、多様性を認め合う、共生社会をつくり支え合うといった生きる力を小さいうちから身につけてほしいと願っています。

私たちは、子どもたちがのびのびと楽しみながら、生きた英語力を育成する保育園として、今も成長させていただいています。これからの時代は、自立心や未来を切り拓く力が必要です。私たちは子どもたちに答えを教えるのではなく、じっくりと見守りときにヒントを与えるナビゲーターになり、いかに子どもの意欲や興味・関心を引き出してあげられるかを考えています。各クラスのねらいを基に、スタッフ間で意見交換をしながら、良い結果に結びつくよう努めています。



HP



Facebook



大阪府八尾市春日町1-4-36



HP



Facebook



大阪府豊中市本町8-5-27

世界をまたにかける キッズたち

2

キンダーキッズインターナショナルスクール 西宮校 K3 クラスのお友だち T.Iくんが昨年、フランスへ向けて日本を飛びました。それから数カ月が経った頃、現地のインターナショナルスクールに通いはじめ、充実した毎日の様子や、キンダーキッズでの学びが大いに活かされているといったうれしい知らせが届きました。そこで今回、Tくんのお母さまにお話を伺ってみました。



下校の様子
課外活動の様子

ー フランス語での授業はどのように対応されていますか？

教師は全員、英語とフランス語が話せるので、分からないフランス語は教師が英語に翻訳してサポートしてくれます。英語を学んでいたおかげで、英語は通じるという安心感がフランス語に挑戦する勇気を後押ししているように感じます。

ー キンダーキッズで英語を学んでいたことでカバーできていることはありますか？

毎週、英語とフランス語のスペルテストがあり、バカンス前にも全教科テストがあります。スペルテストはキンダーキッズと全く同じ様式で行われているようで、そのためテストに対して極度な緊張はなく、実力を出せているので助かっています。飛び級や落第は頻繁にあり、同じクラス授業でも年齢はさまざまです。息子は、フランス語は小学1年生のクラス、それ以外の教科は2年生のクラスで授業を受けています。

ー 海外移住にあたり、お子さまのケアはどのようにされましたか？

渡仏前は、大好きなキンダーキッズを退園しなければならないこと、お友だちと離ればなれになることを悲んでいたのですが、フランスに行ったら“キャンプをしよう”“毎日、海に行こう”など、フランスで楽しいことがたくさん待っていることを息子に伝え続けました。日本を立つまで、キンダーキッズのお友だちが時間を作ってたくさん遊んでくれ、クラスではお手紙を書く時間を設けて息子にプレゼントして



入学した学校で、英語力やマナー、先生が何かお仕事をしているときにじぶんに手伝えることはないか聞く姿勢を褒められました。どれもキンダーキッズで自然と学んだことだと思っています。



ハロウィーンデーの様子
ボランティア活動の様子
トレツからの眺め

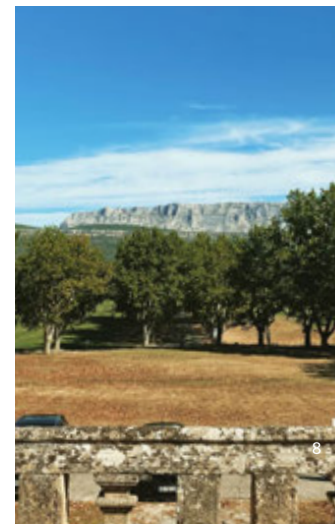
くれました。みなさんのおかげで本当に忘れられない楽しい思い出ができ、キンダーキッズの優しい先生方とお友だちに恵まれたことに感謝しています。今でも、お友だちとの文通が続いています。

ー フランスの学校活動で魅力を感じていることはありますか？

放課後、任意で先生に宿題を見てもらえる時間や、スポーツタイムがあり、スポーツは乗馬、ゴルフ、サッカーなどさまざまな種目が用意されています。水曜日は授業が午前のみで、午後はアートやドラマ、クッキングをローテーションで楽しんでいます。キンダーキッズのクッキングが大好きでしたので、このクッキングの授業も毎回楽しみにしています。ボランティア活動も盛んで、ユニセフ募金のために授業でお人形を手作りし、保護者のみなさんに買ってもらったり、貧しい人たちのために食べものやクリスマスプレゼントを用意して持って行ったりしています。

ー ご家族みなさまのお気に入りスポットはありますか？

エクサンプロヴァンスの中心街はとてもおしゃれでおすすめです。伝統菓子カリッソンやラベンダーの専門店、可愛いお土産屋さんなどのショップが並び、オープンテラスのカフェなども雰囲気があり、南フランスらしさを感じられます。サントヴィクトワール山が美しく観察できる場所、トレツも魅力です。



Iさんファミリーは、フランス南部のプロヴァンス地方に移住されました。通う学校は小中高一貫の少人数制で、イギリスのナショナルカリキュラムを軸に多彩な学習体験を展開されているフランス有数の国際学校です。ゴルフ場も備える広大なフィールドがあり、毎日お友だちと、大自然の中を遊び回れるのが嬉しいそう。プロヴァンスと言えば、セザンヌやゴッホなどの画家にも愛され、多くの人を魅了してきた景勝地。誰しも一度は訪れてみたいと思う憧れの地ではないでしょうか。Tくんは、ご両親と一緒にいくカフェが好きで、お気に入りレモネード。芸術と歴史が薫るこの街で、彼がどんな青年に育っていくのか今から楽しみです。

Grad Club Message

2020 → 2021



グラッドクラブ事業部 部長
アンディー・アッシャー

昨年この時期、新しい年を迎えるにあたり、喜びと期待をこめてメッセージを贈らせていただきました。しかし、生活が大きく変化し、当たり前であったことが一変しました。2021 年はこの経験をきっとプラスに変え、皆さんにとってより良い 1 年となることを心から願っています。そして今年こそは、Grad Club すべてのイベントを実施できるよう健康と安全を最優先に考慮し、プログラムの準備をしています。子どもたちにとってワクワクの夏休みには、多彩な経験や刺激が受けられるイベントがさらに増えます。素晴らしい思い出と学びの多い有意義な時間となるでしょう。また、年々向上している生徒の英語レベルに合わせて新しいコースをつくり、カリキュラム改良も引き続き進めています。また皆さんにご案内できる日が楽しみです。2021 年がグラッドメンバーにとって特別な 1 年になりますように。全国のグラッドクラブの皆さんにお会いできることを心待ちにしています！



Andy Usher

- ▶ 卒園生おかえりなさいキャンペーン! {2/26 まで実施中!}
- ▶ カリキュラム説明会 <G2 以上> {ムービー公開予定!}
- ▶ オーストラリア研修 <小学生プログラム> {定員に達しました}
- ▶ オーストラリア研修 <中高生プログラム> {受付中!}
- ▶ 沖縄 English キャンプ {計画準備中}
- ▶ カンボジアボランティア {P.3 で詳しく掲載しています}
- ▶ Grad Chat レッスン増枠でもっと便利に!

随時、“Grad+”にてご案内しています! 何から始めたら良いか分からない方もお気軽にご相談ください★



グラッドクラブ課

TEL. 06-6135-0140 (平日 9 ~ 18 時)
Mail. info@grad-club.com



Frozen Frog

4 コマ マンガをつくろう

By PHONICS GARDEN

下の 3 つのセリフから選んで 4 コマ漫画を完成させよう!
ほのぼのとした可愛さあり、シニカルな笑いありのフォニックス・ガーデン。今回は、あることがきっかけで凍ったままになってしまったフローズン・フロッグくんと、素直で純粋なキッシング・キウィちゃんの登場です。

『 Shiny : ピカピカ 』



Kissing Kiwi

1

2

3

“Do you really think so?”

“You’re very shiny!
It’s so cool!”

3

セリフはめこみ例は裏表紙へ